

IIZUKA NEWS vol.66

THE VOICE

第66号

成長

～我々の意識が地域を変え、未来を変える～

2021年度理事長所信

2021年度会員紹介

全集中 JCの呼吸

壺の型 判断力

敷田 時丸 27歳 在籍1年

青年会議所に入会して多くの事を学びました。特に学んだ事は判断力です。青年会議所では地域の為に事業などを行います。事業を計画する中で、いつ、どこで、何をするか、すべて判断が必要です。1人で判断する事は難しいですが、青年会議所では一緒に寄り添ってくれる仲間がいます。仲間と共に考える事によって自分だけでは思いつかなかった、発想や判断が出来ます。その経験が仕事の判断力にも繋がっています。青年会議所は自分を成長させてくれます。これからも終わりのなき成長に向けて頑張っていきます。

大庭みほ子 37歳 在籍4年

青年会議所では多くの学びがありますが、特に私が学んだ事は判断力です。単年度制である以上スケジュール管理が重要で、いつ、どこで、どのような活動が必要か、という事を前もってイメージし、行動する事で余裕と充実した事業開催が行えると思います。気持ちに余裕があれば予想外の事が起こっても冷静に対処できる判断力を養う事ができると感じています。活動を通して学んだ事は自身の仕事にも役立っています。

貳の型 解決力

前田 美紀 36歳 在籍5年

青年会議所を通して、さまざまな経験をすることができると共に、いろいろな壁に直面します。しかしそんな時に助け導いてくれる仲間がたくさんいる、それが青年会議所です。本気で悩み、創意工夫を繰り返しながら前向きに行動し、共に楽しめるJCライフを送りましょう！

中村 崇修 26歳 在籍1年

飯塚青年会議所に入会して2年が経とうとしています。この2年間のJC活動を通して、物事に対する考え方や意味づけ。この2つが非常に大事だと気付かされました。普段当たり前のように2つのことを行なっているようにみえても、実は浅く意味がない考えになっていることがほとんどです。その「浅く意味のない考え」を「深く意味のあるに考え」に変えることができるのが飯塚青年会議所です。そんな成長を得ることができる組織に是非、足を運んでください！楽しいことがほとんどです！新しい仲間をお待ちしております！！

参の型 思考力

鈴木 健午 30歳 在籍3年

私が飯塚青年会議所に入会して身につけたことは問題を解決するための思考力です。青年会議所に入ると、事業という運動を通して普段の生活では味わえない様々な経験ができます。花火大会にサイクリングのイベントなど、絶対に普段の自分の仕事では実行するのが無理だろうと思うことも、青年会議所なら実現できます。実現する中で立ちどころの困難を解決するために考えることは辛いですが、他のメンバーの知恵を借りながら問題解決に向けて進み、実現した事業は人生の宝物になること間違いなしです！

小林 奈々 35歳 在籍5年

私が飯塚青年会議所に入会し得たものは数え切れないほどありますが、特に様々な業種や考えを持つ人たちと出会えることで、色々な角度から物事を考える力が養えたことは大きな財産となっています！今この年代だからできること、今しかできないことを常に考え、行動に落としていく貴重な経験をさせてもらっています。女性メンバーも大活躍中です！

肆の型 発信力

高田健太郎 31歳 在籍1年

私はJCに入会して、発信力というものは「わかりやすく伝えること」と「熱意を持って伝えること」だと思えるようになりました。文章の構成を整理し、かみ砕いた文言を使用し、わかりやすい文章にしてやっと相手に思いが伝わる。伝わった思いを相手の心に響かせるために熱意を持って訴えかける。私はJCに入会してこの2つを学び、仕事や日常生活でも発信力がつきました。発信力以外でも多くの成長をさせてもらっています。是非一緒に楽しみましょう。

大村 絵美 33歳 在籍1年

私は年初に自分から率先して行動しようと目標を立てていました。その結果、不思議と普通では体験できないような経験をさせていただくことができ、自己成長に繋がったのではないかと思います。自分が望めば、チャンスはそこらへんに転がっています。ぜひ、私たちと一緒にJCを楽しんでみませんか？

伍の型 リーダー力

伊藤 哲 31歳 在籍2年

私が考えるリーダー力とは、組織やメンバーを巻き込み、協力し時には切磋琢磨しあえる一体感をつくる事ができ、一つの目標に向かって率先し行動できる力だと思います。リーダー力がある人物の特徴は、常に自分自身が成長する意識を持っていますし、周りの方々の成長を促す環境や意識作りを考えています。

尾方 佑輔 31歳 在籍1年

私が思うリーダー力は、決断力と人への思いやりを持っていることです。リーダーは、自分で決めたことを率先してやり続け、その背中を周りに見せなければいけません。また、周りの人に対しての気遣いや配慮の心をもち、思いやりのある行動を取ることも重要だと考えています。色々な人がいるのでどんどん絡んで話してみてください。共に楽しんでやっていきましょう。

JCI飯塚に入ったら
多様な型を習得できる！
共に成長しよう！

かくだいのやいば
拡大の刃

令和2年度理事長総括

一般社団法人 飯塚青年会議所
第67代理事長

麻生 将豊



昨年は新型コロナウイルス感染症が蔓延し、青年会議所の活動は当然のことながら、普段の生活も大きな変化を求められた年となりました。昨日までの日常が、今日は無くなってしまいう時代に於いて、我々に求められることは何かを様々なことに対して考えながら実践していかなければならない、例年とは全く違ったとても難しい年だったと感じています。

しかしながら、その状況下でも地域に貢献すべく、オンラインミーティングの導入や、通常ではありえないような大きな会場を利用しての会議の開催など、様々な工夫を凝らし活動を滞らせることなく継続してまいりました。その集大成として、「大地には潤いを、夜空には花を！！」という飯塚市・嘉麻市・桂川町の合計19か所で1500発の花火をあげるという事業を地域の方々の賛同を受け、企業協賛だけでなく、当青年会議所としては初となるクラウドファンディングを活用し実施することとなりました。「少しでも地域のために」、「地域にその一瞬でも日常を取り戻す」、そのために何かをしたいという気持ちで始めた事業が、このように地域内外の方々から賛同を得た形で出来た結果、今までにない連帯感をもった開催を迎えることが出来ました。

当初考えてきたことが出来なくなってしまったことはたくさんあります。しかし、それがあつたからこそ、かけがえのない仲間と共にいつも以上に成長が出来た一年だったと思います。「和而不同」のスローガンの下、この地域から日本を変えるまでには至らなかったかもしれませんが、しかし、このメンバーで地域の人たちから感謝の言葉をいただいた事業を行い、それを心にしっかりと刻み、来年以降もこの思いを紡いでいければと思います。

おわりに、本年度、飯塚青年会議所に関わっていただいた全ての方々に心より感謝申し上げますとともに、メンバーのご家族、ご友人、そして共に働いていらっしゃる方々に重ねて感謝申し上げます。全ての方々からのサポートがなければ我々の活動は成り立ちません。是非今後とも、我々の活動をご理解いただき、今後も変わらずご協力賜りますことをお願い申し上げます。一年間、ありがとうございました。

一年間の出来事



1月 京都会議



1月 新春祝賀会



2月 2月合同例会



9月 9月例会



10月 10月例会



11月 11月年末式典



有吉 正臣 (株)筑豊調味

多くの方々との出会いに感謝し、JC活動を通じて、地域活性化のために貢献できるように頑張りますのでよろしくお願い致します。



今村 優太 (有)やしま不動産

様々な職種のメンバーの方々と関わることで自分の視野が広がっていくのを実感しています。JC活動を通して、しっかりと自己の成長と地域への貢献をしたいです。



大塚 裕二 大和興業(株)

活動を通して、自分自身の成長と共に、地域の皆さんに、貢献できればと思います。



笠置 一星 (有)笠置建工

JCに入会し様々な業種の方と交流でき色々な知識や視点で学び自分自身成長していると実感しております！地域発展ため頑張っていきます！



草田 成吉 医療法人社団 親和会

様々な業種の方々と交流することができ、とても勉強になっています。今後もJC活動を通して視野を広げて行きます。



島袋 貢 和風ダイニングパーク

JCの皆さんが色々な活動をやっている中、自分のやれる事を一つでも出来るように頑張っていきたいと思っています！



高倉 亮 (株)福岡銀行

JC活動を通じて、自身を成長させると共に、皆さんと地域の方々に喜んで頂けるような活動をして行きたいです！



永末 敬典 飯塚伐採(株)

飯塚伐採株式会社の永末です！頑張りますのでよろしくお願い致します。



村上 貴俊 村上ホーム(株)

JCに入会して実感したのは、様々な職種の方と交流でき、そこで色々な学びを得たことです。在籍できる期間は少ないですが、JCを通じて自分自身を磨き地域に貢献していきます。



柳 颯 医療法人 宮若整形外科医院

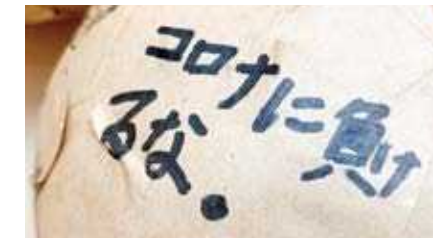
様々な分野で活躍する皆さまから学び、視座を高めていきたいと思っています。自分ができる形で社会貢献を目指します！



福澤 翔 (株)朝日化成

JCに入って、人脈を増やすことと、組織の中で活動することで得られる知識等を活かし社会生活を充実させたい。

全体事業 2市1町シークレット花火大会





成長

～我々の意識が地域を変え、未来を変える～

一般社団法人 飯塚青年会議所 第68代理事長 **樺島 玄陽**

事業計画

- 共に成長を実感できる九州地区大会の実行
- 時代の先端を走る地域づくり事業
- 新しい価値を描ける人材育成事業
- 確固たるイメージの発信事業
- 組織の力を最大化させる総務渉外業務
- 共に成長する仲間を増やす会員拡大事業
- 地域を牽引するリーダー育成事業
- 自己の成長と組織の一体感を高める例会運営
- 持続可能な地域ブランドへの変革事業
- 一丸となり取り組む九州地区大会
- 全員で取り組む会員拡大
- JCI 飯塚全体で取り組む山笠運営
- 台東国際青年商會との国際交流
- 新春祝賀会、創立記念、忘年会の運営

はじめに

ポジティブチェンジこれは私たちがごとあるごとに唱和しているJCIミッションの一部です。皆さんは今より、よりよく成長したいと思っことはないでしょうか。私は私自身の未来が、家族が、会社がよりよく成長していくことを願っています。また、私を育ててくれたこの地域の未来も、よりよく変えていく必要があります。2020年、新型コロナウイルスの発生により大きな変化が訪れました。感染拡大防止のため、人との行き来が制限され、経済は停滞し、後ろ向きな意識になりがちです。未来のことは誰にもわかりません。しかし、地域の未来を明るく豊かに変えることができるのは我々だけです。一人の小さな力ではできないことも、よりよく成長する前向きな意識を持った仲間と共に行動を起こせば、未来により良い変化を起こすことができます。共に、より良い未来を実現するために歩んでいくではありませんか。

共に成長を実感できる九州地区大会

本年、一般社団法人 飯塚青年会議所(以下、JCI 飯塚)はメンバーの熱い想いと共に、九州地区大会を開催する運びとなります。九州地区大会とは、九州内の異なる場所で開催され、そのたびに、JCIメンバーと地域に対して、大きな成果と成長を生み出してきました。それはメンバーの力だけで実現されるのではなく、地域ぐるみの連携と成長の意識が原動力となっており、はじめて可能になります。

JCI 飯塚は、この地域の特性である人と人の繋がりや心の豊かさで、行政を始めとした地域の団体と連携を強めてきました。本年はこの連携と意識の共有をさらに強固なものとし、共に活動していく過程で前向きな意識に変えていきます。この地域のことは誰よりも私たちが知っています。しかし、地域の常識に囚われることにより、客観的にみられなくなり、新しい成長の機会を見落としています。そこで、九州地区大会では各地のJCIや企業、大学、商工会、特産物、取り組みと地域社会を融合させます。地域社会と共に外からの視点を持つことで、選択肢が増え、新たな気づきが生まれ、成長の実感を生み出します。私たちが一丸となり進め九州地区大会は、地域の魅力をさらに向上させ、携わった多くの人の意識を成長させます。

また、私たちは数多くの仲間と共に活動しています。さらに先輩方の拡大の成果により、入会3年未満のメンバーが50パーセントを超え、若い世代の仲間も増えました。JCI 飯塚にとって若いメンバーと共に成長していくための機会の創出と、意識の統一は重要です。九州地区大会はLOMの事業では経験することのできない、大規模な事業を主管します。事業を構築していく中で得られる、知識や経験は手を挙げたLOMでしか味わえない成長を感じる機会です。

本年はこの機会を存分に使い、メンバーの意識を変えていきます。各委員会の事業と活動を九州地区大会に向け一丸となり進めていきます。私や実行委員長だけがやるのではなく、すべてのメンバーが同じ事業に向けて進んでいくことで、一体感が生まれ、これまで以上の意識の統一を図ることができま。九州地区大会のもと、意識を統一し、LOMが一つとなることで、メンバーの更なる成長へと繋がり、地域の成長へと繋がります。

時代の先端を走る地域づくり

私たちの住むこの地域は、九州最大の経済圏の福岡県にあり、福岡市と北九州市に囲まれたこの地域は周囲へのアクセスもよく、さらに大学が三つあり、若者が集まりやすい環境にあります。贅沢を言わなければ、ある程度整っているこの地域、しかし今はよくても、変化していくこの社会で、現状の豊かさに甘んじて、前向きな意識を失えば、私たちも地域社会もあつという間に現状残されてしまいます。

九州を見渡せば、成長著しい企業が多くあります。それらの企業は顧客からの共感や信頼を高めることで、自分の価値を高め、確立することによりファンを増やし成長しています。本年は九州地区大会の広域な連携を利用し、LOMの事業では繋がることのできない、九州の中のJCI、地域団体、企業、人材、情報を繋げます。私たちが地域のビジネスが成長し、前向きな意識を創り出すことで、活気が生まれ、良い人材が集ります。そうなることで取り残されそうな地域から、時代の先端を走る地域に成長します。

新しい価値を描ける人材育成

求める人材、それは時代と共に変化します。人工知能の発展により、人間の役割は大幅に機械に入れ替わると言われています。これからの時代、青年は社会にでる前に、どんな能力を身につけていくべきでしょうか。

大先輩が飯塚の橋やトンネルの話をされてきました。「あそこに橋が必要だ、ここにトンネルが必要だと、そんな計画は当時なかったが、あるべき所にあるべきものがある、という価値のデザインを私たち青年がして、そのことを言い続けたら実現した」と。地域の可能性に固定観念を持たず、多種多様な考えを発信していくことで、新しい需要を生み出せます。

そのために、地域の大学や行政等と連携し、青年に地域の課題に対して常識に囚われない発想を生み出す場を作ります。そうして生まれた発想を組み合わせ、社会から共感を得られる価値を作りだし、挑戦していくことで人工知能では真似することの出来ない青年に成長させていきます。そうして新しい価値をデザインしていく意識を持った青年を増やしていく事でこの地域をよりよく変えていきます。

確固たるイメージの発信

私たちは事業を通して、地域や人の心をよりよく変えていきたいと活動してきました。私たちはこれまでの活動を地域にどの程度発信することができ、印象を残してきたでしょうか。

ホームページやSNS、動画、マスメディアのように私たちのイメージを発信するツールは多く存在します。そのツールをどのように活用していくか考えるのが大切です。そしてもっと大切なのは、何を、どのように、どのタイミングで発信するのかです。イメージは必要としている人のところに、必要な時に届くから価値があり、ニーズやタイミングが違えば、価値のないものとなってしまいます。JCIは単年度制だからこそ、インフルエンサーやYouTube等時代の変化にあわせてやり方で、私たちのイメージを発信していくべきです。

本年は九州地区大会が開催され、JCI 飯塚のイメージを創ってもらうチャンスです。あらゆる媒体を使った発信をし、その相乗効果でJCI 飯塚のイメージを幅広く発信します。そして、あらゆる人と計画段階から連携し、長期的な視点で、物語のある発信をして、露出を高めていきます。

JCI 飯塚が九州地区大会に向けて、様々な最新の技術を使い、広く、戦略的に発信することで、地域に対してもJCI 飯塚のイメージが鮮明になり、確固たるイメージに成長させます。

組織の力を最大化させる総務渉外業務

如何に素晴らしいメンバーが集まった組織であっても、渉外業務を疎かにしては力を発揮することができません。本年は九州地区大会があり、今まで以上に地区やブロック協議会と良好な関係を作り、連携を図る必要があります。九州中のJCIが集い開催される地区大会は、共に多くの汗を流していく仲間が必要であり、JCI 飯塚の力だけでは成功することはできません。そのために互いにコミュニケーションを取り合い、正確な情報を発信することのできるシステムを構築し、組織の力を最大限に発揮させていかなければなりません。また、ルールやマナーも社会の状況に合わせて柔軟に対応していかななくてはなりません。九州地区大会もコロナ後の生活様式に合わせた対応をし、大会のルールやマナーを確立していかななくてはなりません。変化に対して、JCIの持つ横の繋がりや情報を活用し、どうしていくべきかを示します。JCI 飯塚と協議会が一体となり取り組むことで、大きなインパクトを与え、地域により良い成長をもたらしていきます。

また、近年大雨や地震等激甚災害が各地で起きています。いつ発生してもおかしくない大規模自然災害に対して、私たちは地域の様々な団体と連携して、行動していかななくてはなりません。そのために行政や社会福祉協議会との連絡や連携の仕方、役割分担等を平時から打ち合わせ、マニュアルを作成していく渉外業務が必要となります。もしもの災害に、いち早く適切な行動ができる、地域から支持されるJCI 飯塚へと変わります。そして、総会はJCI 飯塚の全ての中心にあり、最終的な決定をする場です。より多くのメンバーが集まり、JCI 飯塚の方向性を確認する事が重要です。そのためには、メンバーに総会の重要性を伝えていくと共に、メンバーとしての前向きな自覚を持ってもらうような仕掛けが必要です。そうして、メンバー全てが当事者意識を持ち、活動していく事で組織の力は最大化していきます。

地域を牽引するリーダーを増やす会員拡大

どんなに素晴らしい組織でも、どんなにいいことをしていても、拡大をしていかななくてはJCIの持続は不可能です。拡大はJCIを知らない青年たちに私たちの魅力を伝え、同志となってもらうことで、市民の中から意識を変えていく重要な活動です。狭い社会の中に身をおいて、成長が止まっている青年たちがこの地域にもいます。だからこそ、様々な人脈を使い、成長の可能性のある青年を見つけ、私たちと共に学ぶ機会をつくり、交流して拡大していきます。また、女性の活躍が社会に広まる中において、これまで以上に女性も拡大をしていくべきです。JCI 飯塚の女性メンバーも様々なことを両立し活躍しています。女性と男性が同じ動きをする必要はありません。しかし仲間と呼ぶのに男女の性別は関係ありません。共に活躍できる女性メンバーが増えることで、組織も女性ならではの提案で活性化し成長します。

また本年は九州地区大会があります。存在を知ってもらうと共に、おもしろいと思う絶好の場です。JCIに人が惹きつけられる理由、それはいつの時代でも「おもしろい」思うからです。それまでの社会生活の中では経験できない成長を感じる機会を多く手に入れることができます。アカデミーメンバーからJCIの固定概念に囚われない発想を引き出し、JCI 飯塚の経験と実績を融合させていくことで、日常生活では経験することのできない成長の機会を提供することができま。新しい仲間を増やし地域を牽引するリーダーへと成長させていくことで地域を牽引する原動力としていきます。

自己の成長と組織の一体感を高める例会運営

月に1度ある例会は集まることにより会としての方向性の確認や意識の統一を図る絶好の機会です。しかし、これだけでは中々参加してもらえないため、例会では参加者に興味を持たせるような仕掛けが必要です。JCIは地域に根差した若手経営者や青年の集まりです。私たちが目標に向かって周りの皆を引っ張っていきよう成長することにより地域がよりよく成長していきます。リーダーへと成長させる仕掛けを、アワーに織り込むことで参加者が増え、より多くのメンバーに前向きな成長の意識を持たせます。さらにはその過程を通じて多くの仲間が集う例会を実現し、組織としての一体感を高めていきます。

また、JCIは共に学びあう組織であります。どうしても来ることができなかったメンバーは動画等のツールを使い支援し、当事者意識を高めていきます。例会を通じて仲間と共にJCIに引き込まれ、式典を通じ九州地区大会への意識を上げていくことで、JCI 飯塚のまともは強固なものとなり、これまで以上の一体感を生む例会運営をして参ります。

持続可能な地域ブランドへ

JCI 飯塚では、65周年の節目の年、高齢化と人口減少の進むこの地域をよりよく変えていくためには、いつか住んでみたいまち、行ってみたいまち、また来たいまちと思わせる、魅力ある地域ブランドが必要だと考えました。これまで、私たちは同じ思いを持った行政や地域の団体、企業をまきこみ、共に汗を流してきました。そして、私たちがめざしてきた方向が実績を重ね、何をしたいのか、地域に伝わってきた今、私たちとの関係性を次の段階に進めていきます。

単年度制のJCIにおいて、継続事業があることは、メンバーのかぎりある労力や時間を浪費し、メンバーの新しい成長の機会を失わせるという意見があります。確かに、一度経験した事業は、どこに発信していけば良いか、人が足りなければどこと連携していけば良いか、どうすれば効率的になるか実績を通じてわかっていきます。しかし、共に活動していくうちに次第に私たちの手から離れ、地域の団体が主導する自立した事業に変えていく事が私達の成長に繋がります。そうなれば、私たちがリーダーとして関係団体を引っ張るのではなく、関わっている人が自ら考え、その中から新しいリーダーが次々に生まれるようになり、私たちはただ、後押ししていく関係に変わります。

地域のリーダーが集い、進めていくことで、私たちのはじめた魅力ある地域ブランドも自立し、持続可能なものとなり、地域を前向きな意識に変えていきます。

終わりに

私のめざす地域社会、それは地域の一人ひとりが未来に向け前向きに成長していく意識を持った社会です。これまで私たちは地域のみなさんと連携しあってきました。地域が最も力を持つのは、一人ひとりが成長の意識を持ちだした時です。地域の同志が集まり、よりよくなるよう行動を起こす時、この地域の未来はきっと変わられます。私たちの意識が地域を変え、そうなることで未来を変えていきます。そして、先輩たちのこれまでの尽力のおかげで、JCI 飯塚には多くの仲間がいます。一人でできることは限られています。しかし、2人、3人と同志が集まれば、変えていくことができます。本年はJCI 飯塚が一丸となり運動を起こしていきます。そして、私はどんな困難があろうとも挑戦します。挑戦をやめないかぎり、私たちの想い強く、明るい豊かな社会は必ず実現できます。より良い私たちと、地域の未来をめざし1年間、成長してまいります。

JCI Japan

2021年度 理事メンバー

成長

～我々の意識が地域を変え、未来を変える～



理事長
樺島 玄陽

龍王ガス(株)
H23年入会



直前理事長
麻生 将豊

麻生商事㈱
H23年入会



副理事長
新栞 健一

メットライフ生命保険㈱
H25年入会



副理事長
古谷 和雅

㈱古谷金物店
H23年入会



副理事長
三村 晋作

筑豊通運㈱
H30年入会



副理事長
前田 美紀

㈱ニッソー
H27年入会



専務理事
原中 茂雄

㈱KRC
H23年入会



事務局長
前山 剛哉

㈱前山産業
H29年入会



事務局次長
敷田 時丸

福岡観光バス㈱
R1年入会



常任理事
稲岡 良平

福岡良平税理士事務所
H30年入会



常任理事補佐
高田健太郎

たかた呉服店
R1年入会



監事
外山 武志

㈱KMG
H21年入会



監事
多賀谷勇気

㈱多賀谷建設
H21年入会

九州地区大会特別室



室長

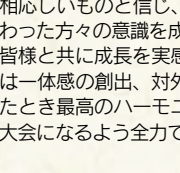
深田 良介

(有)深田環境衛生
H26年入会



副室長
浅田 智之

ダイワ印刷㈱
H24年入会



副室長
小林 奈々

ビップエコー飯塚店
H27年入会

あたたかい情熱を持ち、皆様と共に成長を実感できる九州地区大会に向け。本年度、私たちは一般社団法人 飯塚青年会議所(以下、JCI 飯塚)全体をオーケストラと捉え、指揮者としてテンポとバランスを取り、ミスやズレがあれば修正し完成度を高めてまいります。また、行政を始めとした各種団体とは、これまで強めてきた連携だけでなく、これからは意識の共有をさらに強固なものとし、機能させていかななくてはなりません。そこで、対内的には一体感の創出、対外的には新時代の創出に向け、常識に囚われることなく、楽しいこと、面白いことから始まるワクワクするパフォーマンスに取り組んでまいります。

多動力を発揮した一体感の創出。現在、JCI 飯塚は入会3年未満のメンバーや若い世代のメンバーが増えたということもあり、今一度、意識の統一を図ることが重要だと考えます。本年度は、成長する意識をさらに高めるために私たちが見本となるよう能動的な行動をしてまいります。また、新時代を迎えるにあたり、メンバー間の関わり合い方についても模索してまいります。集わずとも集う価値観と同等か、それ以上の手段を創出し、この新しい関わり合い方からメンバー全員の当事者意識を高めてまいります。私たちは絶対的な多動力をいかし、理事長と共にJCI 飯塚の気運を高め一体感の創出を実現致します。

過去に囚われない新時代の創出。行政を始めとした各種団体とこれまで強めてきた連携に満足することなく機能させていくには、今まで当たり前だったことを覆してでも新しい正解を生み出さなくてはなりません。固定観念や地域の常識に囚われることのないよう、客観的思考を巡らせ当たり前を見直すことから始めたいと考えます。その行動が新時代に相応しいものと信じ、チャレンジしてまいります。そうすることにより、地域の魅力をさらに向上させ、我々と共に携わった方々の意識を成長させ、機能させていくという新時代の創出を実現致します。

皆様と共に成長を実感できる九州地区大会は、これから様々なことを経験する過程が最も重要だと考えます。対内的には一体感の創出、対外的には新時代の創出のためにあたたかい情熱を持って行動します。大会当日、その二つが融合したとき最高のハーモニーを奏でるでしょう。指揮者として最後はスタンディングオベーションが起きるような九州地区大会になるよう全力でタクトを振ってまいります。

地域づくり委員会



委員長

尾方 祐輔

Life Time Supporter
R1年入会

本年度当委員会の目標は、経済効果をもたらす様々なアイデアをもった私たちの活動する地域の人を結び付けしっかりと連携させることで前向きな意識の人を増やし、この地域を成長させていくことです。それは、日々変化するこの社会において今置かれた環境に満足するのではなく常に成長を望み今よりさらに良くしようとする想いをもった人が増えることで、この地域の成長に繋がると考えたからです。

その目標を実現するために本年度開催される九州地区大会を利用し広域な連携を図ることにより、本来は繋がることが困難な人や企業を繋げていきます。まず、私たちが九州地区で選定した企業と地域の企業を繋げ、互いにもつ発想を取り入れることで新たな気付きや創造を生み出します。そして、人や企業同士が連携することで創り上げたモノやコトがこの地域の新たな魅力になるよう私たちがしっかりとサポートして参ります。さらに、ここで創り上げた新たな地域の魅力を九州地区大会のエクスカーションを通して発信する事業を構築いたします。

そうすることで、この地域の方々や企業の方々には事業を行うまでの過程を通し得た経験を今後のビジネスに活かしていただき、九州地区大会に参加された方にはこの地域の新たな魅力やその取り組みを知っていただくことで、事業活動や地域づくりの参考にしていただきます。そして、この取り組みに感化された、この地域の人々やビジネスがより成長し経済効果をもたらします。さらに、この運動が成功することにより前向きな意識をもった人が増え、この先どんな時代がきたとしても成長できる時代の先端を走る地域づくりに繋がると確信いたし一年間走り続けます。

各行事が自粛している今だからこそ、一般社団法人 飯塚青年会議所が新春祝賀会を率先して開催し、理事長の掲げる「成長」を多くの方々に発信することにより、参加いただいた人たちが困難な状況でも、前向きな意識を持てる新春祝賀会を企画・運営して参ります。



副委員長

崎村 悟

ふみな工業(株)
R1年



青柳 宏明

(有)大丸装飾工業
R1年入会



因間 雄二

CleeeeN
R2年入会



芹野 智之

たこ八
R1年入会



田中 亮平

(株)片島屋
R1年入会



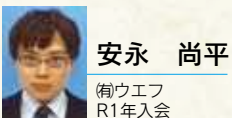
前 佳津雄

(株)久衛組
R1年入会



水城 武敏

ミズキ不動産
R1年入会



安永 尚平

(有)ウエフ
R1年入会



渡辺紘一郎

社会福祉法人 嘉穂郡社会福祉協会
H30年入会

地域連携委員会



委員長

今吉 義之

(株)パーソナルネット
H21年入会

私たちは、この地域を想い活動している人たちに対して、魅力ある地域ブランドを深く知ってもらい、興味を持ってもらいたいと思っています。この魅力ある地域ブランドをさらに推し進めるために、各種団体との協力を連携へとステップアップさせ、一般社団法人 飯塚青年会議所（以下、J C I 飯塚）が67年の歴史で培ってきたものを活かし、より成果を残した事業を持続可能なものへ変革させるべく、各種団体に引き継ぐことが必要と考えます。

そのためには、J C I 飯塚に今まで協力いただいている各種団体と連携をはじめ、互いの特色を理解し、共に効率的な運動を行いながら事業を引き継いでいただくべく、後押ししていく必要があります。その後押しとして、J C I 飯塚が提言したスポーツツーリズムをより波及させるために、この地域で締結されていないスポーツ包括連携協定の調印を目指します。そして、私たちと各種団体が共に事業を行うことによって、新たな意見や今までにない価値観、事業構築のノウハウなどを共有することができ、協力から連携へのステップアップをさらに加速させられるような事業を構築致します。

さらに、J C I 飯塚の事業を連携先のメンバーが実践していくことができれば自主性が芽生えていきます。その自主性が積み重なることで責任感も生まれ、新たなリーダーが創造されと考えます。

その結果、最終ステップである事業の引き継ぎは可能になり、J C I 飯塚は新たな活動や運動の機会が増え、メンバー一人ひとりの成長に繋がること、新たな地域ブランドが創造され、この地域をさらに活気づけることができます。そして、この地域を想う各種団体同士がさらに連携を推し進めていくことで、より魅力ある地域ブランドへと成長し、持続可能な地域ブランドへ変革されると確信致します。

各行事が自粛している今だからこそ、J C I 飯塚が新春祝賀会を率先して開催し、理事長の掲げる「成長」を多くの方々に発信することにより、参加いただいた人たちが困難な状況でも、前向きな意識を持てる新春祝賀会を企画・運営して参ります。



副委員長

吉浦 俊次

(株)ヨシウラ
H28年入会



赤坂 昌紀

(株)緑親園
H20年入会



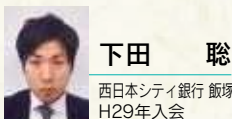
大塚 裕二

大和興業(株)
R2年入会



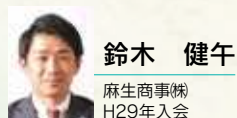
齋藤 嗣人

翔志園
R2年入会



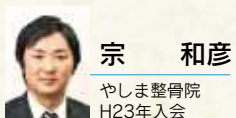
下田 聡

西日本シティ銀行 飯塚支店
H29年入会



鈴木 健午

麻生商事(株)
H29年入会



宗 和彦

やしま整骨院
H23年入会



森 美朗

(株)リビングデザイン
R1年入会

価値デザイン委員会



委員長

佐野 敏幸

(株)佐野組鐵工所
H30年入会

私たち一般社団法人 飯塚青年会議所は規則の中で新しい価値をデザインし、様々な事業を展開しています。新しい価値を生み出していくことは、地域が成長するためには最も重要です。この地域には3つの大学があり、まだ社会へ出る前の大学生には、私たちにはできない規則には囚われない新しい価値を生み出すことができると考えます。

当委員会では、これから社会に出ていく大学生の成長へのきっかけとして、まずこの地域の大学生たちに、この地域の課題や問題点が何だと考えているのかをヒアリングし集約します。そして、大学生と行政等との話し合いの場をつくることで、お互いの意見をぶつけ合わせ、課題や問題点をさらに明確にしていきます。大学生の自由な発想を行政等との話し合いのなかで組み合わせ、社会から共感される新しい価値を生み出します。さらに、人や地域のために何かを創り、共感を得られるものとして残すため、事業を実施いたします。この一連の活動と事業をとおし、これからの社会へ挑戦し続けられる人材へと変わってもらうことで、地域の成長にも繋がると確信します。この経験は若い世代の新しい発想力・行動力の醸成になり、多くの人と連携・協働し、より強く新しい価値を創造する気持ちを持つことで、明るい未来をつくっていくと考えます。

今年度は九州地区大会がこの飯塚の地で行われます。この機を活かし、活動や事業で関わった大学生、行政等と共につくり上げた新しい価値を広く発信していく事業を行います。それによりこの地域はより成長すると確信いたします。

また当委員会の担いである創立記念では二年越しの開催にあたり、厳粛かつ盛大に創立68周年という歴史を重く受け止めつつ、先輩方と楽しく関わり合える環境を作り、自己の成長に繋がるよう企画運営を行ってまいります。



副委員長

草田 成吉

医療法人社団 親和会
R2年入会



今村 優太

(有)やしま不動産
R2年入会



大村 絵美

日本生命保険相互会社 田川営業部
R1年入会



小山内弘治

小山内工業
H29年入会



北野 太介

KITANO
R1年入会



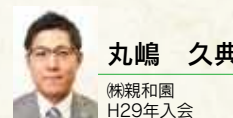
能登 洋晃

(有)かいた環境開発工業
H28年入会



藤川 聡

藤川自動車(株)
H29年入会



丸嶋 久典

(株)親和園
H29年入会



元野木正比古

(株)元野木書店
H29年入会

イメージ発信委員会



委員長

伊香賀 亮

オフィス イコウガ
H25年入会

私たち一般社団法人 飯塚青年会議所（以下、J C I 飯塚）は現在に至るまでに様々な事業をとおし、明るい豊かな社会の実現のために活動してきました。そして様々な手法で地域の人々にJ C I 飯塚の活動を広報してきました。しかし地域の人々に十分に私たちの活動を知ってもらえているでしょうか。これまでにJ C I 飯塚に関わった方や、関係者に近い人々には認知はしていただいているとは思いますが、広く一般的には地域の人々にまだまだ認知されていないように感じます。当委員会では時代の変化にあわせJ C I 飯塚のイメージを発信していき、地域の人々に広く知ってもらう事を目指します。

現代社会には2004年に開設された「mixi」を皮切りに、様々なSNSのツールが存在します。SNSは年代に合わせた用途が確立されており、それに伴いイメージを発信するニーズやタイミングは多様化しています。これからは、J C I 飯塚の発信力を更に加速させることが地域への周知に繋がるのではないのでしょうか。各種のSNSの特性を知り活用することで、情報を適所にタイミングよく伝えることが可能になると考えます。私たちが地域の人々に広く、深く、楽しく、戦略的に伝える事で、J C I 飯塚のイメージの発信をさらに加速させていただきます。まず広報を行うために必要なものは、より多くの情報を密にし、事業開催に至る背景、過程を把握することで地域の人々に、よりJ C I 飯塚の活動や情報を届けることができると考えています。

SNSとは一般的に、社会的な繋がりを作るサービスと定義付けられています。昨今新型コロナウイルスの影響により、仕事のやり方は変化しています。当委員会の担いを追及していく事で、まずは委員会メンバーが自身を発信し、多くの人と繋がっていく技術を身に付け、その手法を活動、事業などをとおし、LOMで技術の共有ができれば、我々メンバー一人ひとりの成長に繋がると確信し、一年間頑張っていきたいと思います。

今年度は九州地区大会が飯塚の地で行われます。この機をチャンスとし、様々な手法で地域の人々にJ C I 飯塚を更に周知してもらええる事業を行います。

また当委員会の担いである創立記念では二年越しの開催にあたり、厳粛かつ盛大に創立68周年という歴史を重く受け止めつつ、先輩方と楽しく関わりあえる環境を作り、自己の成長に繋がるよう企画運営を行ってまいります。



副委員長

笠置 一星

(有)笠置建工
R2年入会



岩本 真司

(有)サキオ
H26年入会



遠藤 訓之

親和電設工業(株)
H26年入会



大谷 悟史

大谷組
H29年入会



大塚 正博

(株)三信ビル管理
H20年入会



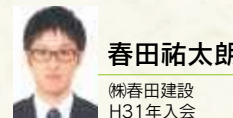
小倉 征典

小倉商店
H30年入会



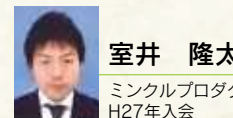
塚本 恭平

(株)ホー堂ひかり調剤薬局
R1年入会



春田祐太郎

(株)春田建設
H31年入会



室井 隆太

ミンクルプロダクツ(株)
H27年入会

▶ 例会委員会



委員長

國本 洋規 垂

マルマツ産業(株)
H30年入会

私たち一般社団法人 飯塚青年会議所(以下、ＪＣＩ飯塚)は、地域の未来を担う青年経済人として自ら率先して行動し、地域を変える原動力にならなければなりません。その原動力を最大化するためには、個々人の成長もさることながら、ＪＣＩ飯塚メンバー間の成長に対する共通認識、共に行動して高められる仲間意識が必要不可欠です。とりわけ、私たちが青年経済人としてリーダーを目指すためには、仲間のことを思い、声をかけ合って周りのメンバーをＪＣ活動に巻き込んでいく力がとても大切です。私は、その力とはメンバー一人ひとりの人間力であると考えます。

そこで、私たち例会委員会は、メンバー一人ひとりが人間力溢れるリーダーへ成長できる例会を提供致します。人間力の高いリーダーの元には多くの人が集まります。例会を通してメンバーそれぞれに人間力を高めてもらうことで、そのメンバーの元に、これまで以上の人が集まることが期待できます。さらに、より多くのメンバーの参加を目指して、まず私自身が率先して行動し、リーダーとしての姿勢を見せることで、周りの委員長、副委員長を感化させます。そして、感化された委員長、副委員長が委員会メンバーへ積極的に声かけを行い、委員会メンバーをＪＣ活動に巻き込むことで、出席率の向上を目指します。この他にも、開催予定の例会情報を注目を集める方法で事前に発信し、一人でも多くのメンバーに来てもらえるような仕掛けを作ります。また、止むを得ない事情で例会に来ることができないメンバーに対して、動画などの支援ツールを用いてフォローアップを行い、情報の共有化に努めます。具体的な運営にあたっては、ＪＣＩ飯塚の一員としての意識統一と確認の場となる式典、そして、リーダーになるための自己成長に向けたアワー並びにメンバーにとって楽しく人間力を磨くことができるアワーを考案します。

九州地区大会においては、それぞれのメンバーのベクトルを揃え、共通認識、仲間意識を持ってもらうことで一体感を高め、九州地区大会に臨みます。

台東国際青年商會(以下、ＪＣＩ台東)との国際交流事業については、諸先輩方が長年培ってこられたＪＣＩ台東との友好関係を継続し、国を越えた友情を育みます。

最後に、例会で体得した高い人間力と九州地区大会をやり遂げた経験は、その後のＪＣ運動や各事業所でもその効力を発揮し、結果的に地域社会の発展につながる原動力になると確信致します。



副委員長

中村 崇修

NPO boisoan
R1年入会



大庭 みほ子

(株)コスモスハウス
H28年入会



小田 裕亮

有限豊舗道
H29年入会



木村 芳徳

(株)福岡中央銀行
R1年入会



久保 勝志

飯塚信用金庫
H30年入会



坂口 遼太郎

喜怒哀楽酒場 うまづら
H31年入会



野村 昇平

飯塚信用金庫
H30年入会



福澤 慶之

上嘉穂貨物自動車運送(株)
H19年入会

▶ 総務渉外委員会



委員長

古賀 浩一

有限セントコーポレーション
H22年入会

私たち一般社団法人 飯塚青年会議所(以下、ＪＣＩ飯塚)は、これまで九州地区協議会や福岡ブロック協議会、あるいは社会福祉協議会や行政といった様々な他団体と連携し、活動してきました。地域の持続的な発展のためには、これら他団体との渉外業務を維持、強化していくことが重要です。

本年度は九州中のＪＣが集う九州地区大会があります。九州地区大会においては、他地域や他ＬＯＭから訪れる人々が円滑に大会へ参加できるように総務業務を執り行うことに加え、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う新しい生活様式にも対応できるように国の指針に沿った新しいルールやマナー作りを行います。さらに、九州地区大会を成功へ導くための渉外業務として、正確な情報を発信していくために、クラウドなどのＩＴ技術を用いて九州地区協議会や福岡ブロック協議会との連携を強化していきます。ＪＣＩ飯塚と協議会が一体となって取り組み、九州地区大会を成功させることで、会員にスケールメリットを感じていただくとともに、そのことが会員のみならず地域の方々の視野を拡げ、地域の成長にも繋がると考えます。

また、近年、記録的な豪雨による河川の氾濫や土砂災害等の自然災害が各地で頻発し、社会的、経済的に甚大な被害が発生しています。さらに、新型コロナウイルス感染症対策のために、経済活動が制限を受け、個人も新しい生活様式への変更を余儀なくされるようになっています。私たちの活動エリアである飯塚市、嘉麻市、桂川町にとっても避けては通れない課題となっております。自然災害に対して迅速に対応するには、ＪＣＩ飯塚が日ごろから災害に対して高い意識を持ち、常に動ける体制を作るとともに、社会福祉協議会や行政と平時から連携を図らなければなりません。そこで、本年度、総務渉外委員会では、自然災害が発生しても迅速に対応するため、日ごろから連絡先の確認や連携の仕方、役割分担等の確認ができるように社会福祉協議会や行政と協議を行います。そして、迅速かつ適切な行動を可能にするための災害対策時の組織図や行動指針などのマニュアル作りを行います。ＪＣＩ飯塚が社会福祉協議会や行政と連携し、災害時に迅速に動ける体制を作ることが、ＪＣＩ飯塚に対する地域の信頼を高めることにも繋がると考えます。

総会においては、定款及び運営規定を十分確認し、新しい生活様式にも即する形で厳粛な総会運営を行います。また、ＪＣＩ飯塚の最高意思決定機関である総会の重要性を会員に伝えていくことで、会員に自身がＪＣＩ飯塚の方向性を決定する当事者であるという自覚を促します。会員一人ひとりが当事者意識をもって活動していくことで、組織の力は最大化していきます。

台東国際青年商會(以下、ＪＣＩ台東)との国際交流事業については、諸先輩方が長年培ってこられたＪＣＩ台東との友好関係を継続し、国を越えた友情を育みます。

結びに、本年度、飯塚の地で開催される九州地区大会を成功に導くことが、会員全体の成長と２市１町の発展に繋がるものと確信しています。



副委員長

有吉 正臣

(株)筑豊調味
R2年入会



安中 祐二

(株)アイビーメディカル
H27年入会



大村 洋祐

(有)日本バボルナ
H26年入会



島袋 貢

和風ダイニングパーク
R2年入会



田中 智章

ダイニングバー ダブル
H29年入会



中川 裕貴

なかがわ証券アドバイザー(株)
H26年入会



栢田 晃久

栢田法律事務所
H26年入会



村上 貴俊

村上ホーム(株)
R2年入会



吉原 正和

(株)愛和不動産
H27年入会

▶ 会員拡大委員会



委員長

鶴原 賢

鶴原液化ガス(株)
H30年入会

現在、一般社団法人 飯塚青年会議所(以下、ＪＣＩ飯塚)は多くのメンバーで活動を行っています。それは、今まで諸先輩方が会員拡大を継続し、ＪＣＩ飯塚の魅力を伝え、おもしろいと共に感じられる仲間を増やしてきたからです。しかし、40歳で卒業という限られた時間があるため、この会員拡大を続けていかなければ会員数が減少し、私たちがＪＣ活動やＪＣ運動を行っていく過程で切磋琢磨し成長していく機会が減少することにも繋がります。私たちが成長を望み、ＪＣ活動を行っていくためには会員拡大を行い、共に成長し共に活躍できる仲間を増やしていくことが必要です。

まず、会員拡大をＪＣＩ飯塚全体の課題として繰り返し周知することでメンバー全員の意識統一を図ります。そして、新たな入会候補者を見つけ出ししていくために入会して間もないメンバーやアカデミーメンバーからも積極的に情報を引き出し、メンバー全員で入会候補者の情報を共有します。ＪＣＩ飯塚のメンバー全員で会員拡大を行うことで、組織として一体感が育まれ大きな力を発揮できると考えます。さらに、入会候補者とＪＣＩ飯塚メンバーが交流する機会を作り、ＪＣＩ飯塚を知っていただくと共に、人とひとが接することで関係性を築き、今後の会員拡大へと繋げる事業を構築します。また、女性会員の拡大にも目を向け、活動を行います。ＪＣＩ飯塚でも活躍している女性を知っていただき、ＪＣＩ飯塚の魅力を伝えることでＪＣＩ飯塚に関心を持っていただき今後の会員拡大へと繋がります。そうすることで女性ならではの発想や意見が加わり、ＪＣＩ飯塚が組織として一層進化し成長できると確信します。

また当委員会の担いである忘年会に関しましては、卒業生に対し感謝の意を表する場とすると共に、卒業生の経験や想いを現役メンバーへ継承し、今後のＪＣＩ飯塚の成長へ繋がる企画・運営を行って参ります。



副委員長

木村 浩憲

明治安田生命保険相互会社
R2年入会



石原 祐也

明成工業(株)
R1年入会



高倉 亮

(株)福岡銀行
R2年入会



高橋 義彦

福岡県議会議員
H27年入会



西本 渉

西本工務店
H31年入会



吉田 学

(株)大地
H30年入会

▶ リーダー育成委員会



委員長

伊藤 哲

(株)WORKERS CARE
H30年入会

一般社団法人 飯塚青年会議所(以下、ＪＣＩ飯塚)は、今日までこの地域のよりよい未来を望み、メンバーの育成や組織の成長を繰り返してきました。これから日々変化する社会の中で、他業種で考え方の違う同世代の人たちが事業や委員会運営を通じてお互いの考え方や感じ方を学び、一人ひとりが成長の機会に触れること、そしてその経験を活かし地域を牽引するリーダーとなっていくことは、青年会議所の一番の魅力です。その中でも、入会し右も左も分からないアカデミーメンバーのリーダー育成は、ＪＣＩ飯塚の持続的な成長として、とても重要な課題です。

そこで当委員会では、アカデミーメンバーに向けたＪＣＩ飯塚の将来を担うリーダー育成事業を行います。活動や運動を通じて、ＪＡＹＣＥＥとして、ひとのため、まちのため、チャレンジ精神を持って能動的に行動できるリーダー、そして地域を牽引するリーダーへ育成していきます。

まず、アカデミーメンバーに「ひとづくり」や「まちづくり」の意識を持つことを大切にしてもらいます。なぜなら、リーダーは一人ひとりの成長を促すことが求められ、何より自己成長を続ける姿勢が重要です。さらに、このまちのために私たちが理想とする社会実現に向け行動を起こしていくことは、地域を良くし地域の人々を巻き込み、結果として地域を牽引するリーダーの育成につながるからです。

本年、九州地区大会という絶好のチャンスを活かし、アカデミーメンバーの新しいアイデアと、現役メンバーの経験を融合させ、ＪＣＩ飯塚メンバーと参加者がおもしろいを共感でき、新しい発見ができる事業を構築していきます。その中で、アカデミーメンバー間での交流や現役メンバーとの友情が生まれ、能動的に活動に参加できるメンバーを増やし、アカデミーメンバーが表舞台で率先して活動できる「成長」の場を構築します。そして、「ひとづくり」や「まちづくり」の意識を持つリーダーの存在は次なるリーダーの成長を促すことに繋がります。持続的な地域発展に繋がると確信しております。

また当委員会の担いである忘年会に関しましては、卒業生に対し感謝の意を表する場とすると共に、卒業生の経験や想いを現役メンバーへ継承し、今後のＪＣＩ飯塚の成長へ繋がる企画・運営を行って参ります。



副委員長

柳 颯

医療法人 宮若整形外科医院
R2年入会



小松 佳弘

(株)バーソナル・ガラス・アイックス
H23年入会



渋谷 徹

ピース運輸代行
H31年入会



藤川 慎吾

(株)ウイングセキュリティ
R1年入会



永末 敬典

飯塚伐採(株)
R2年入会



本河 実平

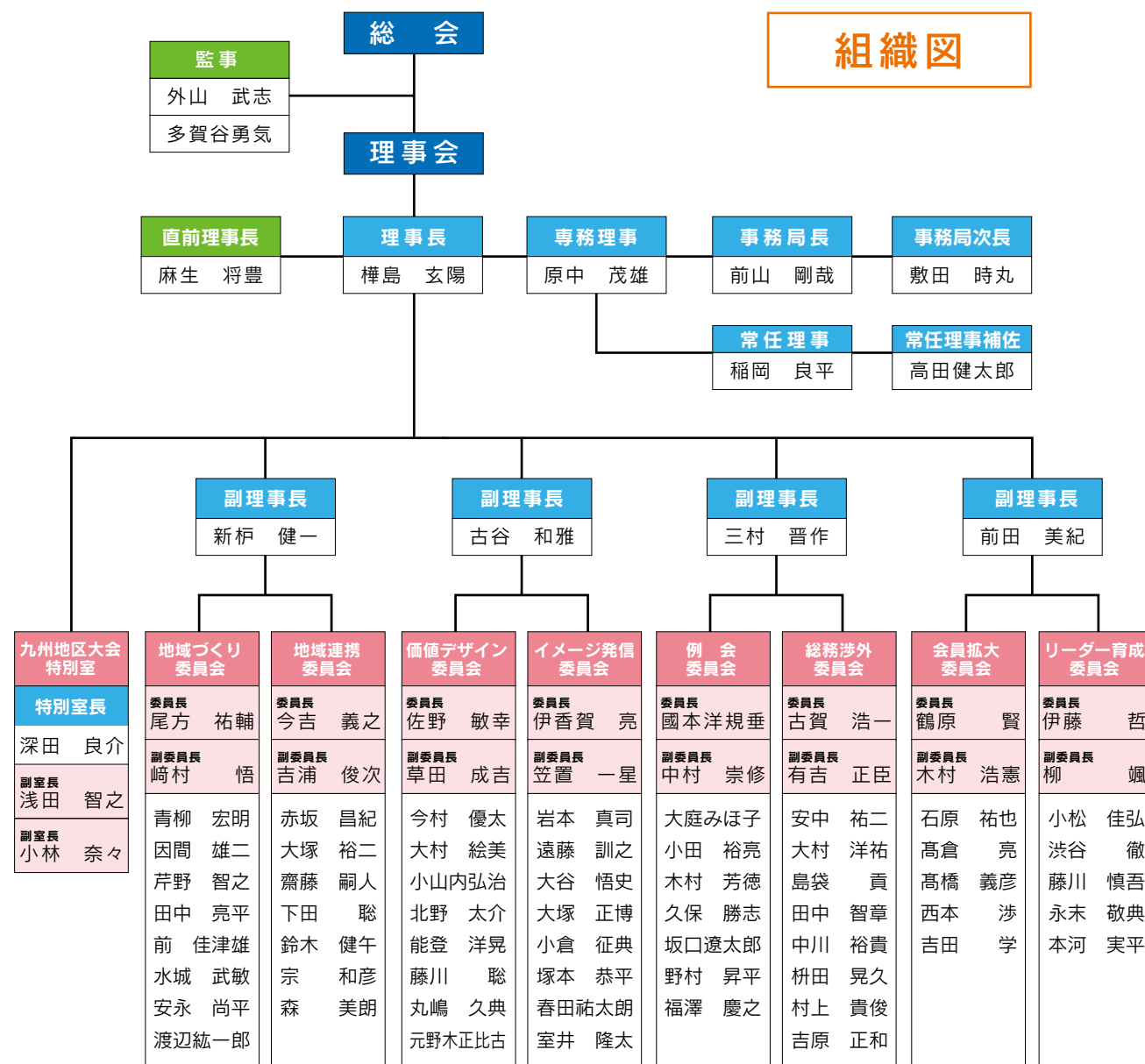
(株)本河住建
H26年入会



2021年度

会員紹介

組織図



～この地域への「愛」を新しいカタチで届けたい～

九州コンファレンス 2021 in 飯塚

大会委員長挨拶



深田 良介

九州コンファレンスとは、一年に一度、九州中の78カ所にある青年会議所のメンバー約3,000名が一堂に会して九州を今以上に発展させるべく、その思いを共有する場です。

新型コロナウイルスの影響もあり、私たちも思うように活動ができずにいますが、この状況下でも私たちがこの地域の為にできることを少しでも多く見つけ、この大会を通してこの地域の魅力を全力で発信し、地域の発展に少しでも寄与できるよう全力で取り組んで参ります。

そして、この地に新たな旋風を巻き起こし、この地域から九州のより良い未来を創造していきたいと思います。



鍵交換式





(一社)飯塚青年会議所は、 あなたの力を 求めています! 会員募集

青年会議所は
20歳から40歳までの
情熱ある青年の団体です。



青年会議所(JC)は、20歳から40歳までの青年が「明るい豊かな社会」の実現を目指して、様々な地域貢献活動を行っている団体です。私たちは現在、国内691余りの都市に約26,000人の会員を擁し、全世界130カ国の国及び地域に活動拠点があります。

青年会議所の事業目的は“社会と人間の開発”です。私たちは市民社会の一員として、市民の皆様から共感を得られるような社会貢献活動を行うと同時に、その過程を通して、会員それぞれが「自由」を基調とした民主的な指導能力を発揮できるように人材育成を行っています。

対象者 飯塚市、嘉麻市、桂川町に住所または勤務地を有する20歳から37歳までの方であれば男女は問いません。
詳しくは下記(一社)飯塚青年会議所事務局までお問い合わせください。



Facebook



Home Page

お問い合わせ先

〒820-0017 福岡県飯塚市菰田西3丁目18-11

TEL 0948-23-0292

FAX 0948-24-3471